

特集記事

-Special Program-

地域にボッチャを広げるために

日本ボッチャ協会公認サポーター養成講習会を開催！

◆期日：令和5年2月12日（日）◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：今回も日本ボッチャ協会強化指導部長の村上光輝さんをお招きしました。村上さんをご存じの方も多いと思いますが、2020東京パラリンピックでは日本代表監督を務めています。日本のボッチャを長きに渡って牽引してきた功労者でもあります。貴重な機会ですので午前の部と午後の部で2回講習としました。講習内容はボッチャ導入時に使えるプログラムをたくさん準備しており、とても参考になります。日本代表監督と聞くとガチガチの競技指導をイメージしている受講者も多いようですが、全く異なります。いかにボッチャを地域で展開するか、ボッチャの魅力が参加者が主体的に感じていただけるよう工夫されたプログラムとなっています。本県のボッチャ普及関連のプログラムはここで学んだことを活かすようにしています。大切なのは既存のフォーマットに拘りすぎないこと。そして教えすぎず参加者自らが判断する場面が多くなるよう配慮することです。これにより参加者は自らが次のプレーについて考えたり、自然とチーム内で作戦会議がおこなわれたり、考えながらプレーするようになります。まだ受講したことのない方はぜひ次回の講習にご参加ください。ボッチャの面白さを実感できる良い機会となります。そして、指導者の心構えを再認識する機会にもなります。皆さんも教えすぎに注意！参加者の「できた！楽しい！」を引き出す指導を考えていきましょう！



CONTENS



■特集記事

- P1 / 日本ボッチャ協会公認サポーター養成講習会を開催
- P2 / パラリンピック選手がやってきた！（廣瀬 隆喜 選手）

■事業報告（2月中旬～3月末）

- P4 / ボウリング交流大会・卓球バレーサントリーたかたカップ
- P5 / 障がい者スキー交流会2023・ゲートボール交流大会
- P6 / 岡崎建設バレーボール教室・岩手県パラアーチェリー記録会
- P6 / 正会員一覧
- P7 / 賛助会員紹介（株式会社やよいディライト）
- P8 / 賛助会員一覧・バナー広告

ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会
岩手県障がい者スポーツ指導者協議会
岩手県卓球バレー協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626
E-mail : info@iwate-adaptive.or.jp

ボッチャ体験交流会 in 奥州

期日：令和5年2月19日（日）

会場：前沢いきいきスポーツランド



開催までの経緯

令和4年12月7日（木）に開催に向けて実行委員会が開催されました。当協会も実行委員として参加しました。

会議冒頭、会場となるいきいき前沢スポーツランドの指定管理者である NPO 法人前沢いきいきスポーツクラブの及川理事長より、本事業は令和4年度スポーツ庁の『障害者スポーツ推進プロジェクト』委託事業として行うなどの趣旨説明がありました。

実施内容については、ここ数年の各地域でボッチャ体験のニーズが高まっていることからパラリンピック選手を講師としてお招きしてボッチャ体験交流をするということを確認。講師の調整は日本ボッチャ協会に依頼しているが、現役の選手は難しいのではないかとという事前情報がありました。

しかし、ふたを開けてみると日本のダブルエースの一人である廣瀬選手に決定したというお知らせが届きました。また東京パラリンピック日本代表チームの監督である村上光輝さんもいらっしやるとのこと。私たちも驚きでしたが、地元の皆さんは驚きとともに喜びも大きかったと思います。

ひろせ たかゆき 廣瀬 隆喜選手の紹介

まずは廣瀬さんのプロフィールを紹介します。
所属：西尾レントオール KK/廣瀬ボッチャクラブ
主な成績は以下のとおりです。

*北京 2008、ロンドン 2012、リオ 2016、東京 2020 と4大会連続でパラリンピック出場。リオ大会・東京大会では団体で銅メダルを獲得。

*リオデジャネイロ世界選手権では個人で銀・団体で銅メダルを獲得。

*圧巻は日本ボッチャ選手権での活躍です。ライバルである杉村孝之選手と頂上決戦を演じながらも 2006～2009、2011、2014、2016、2019、2021、2022 と10回優勝！その他 2018 年の世界選手権での団体銀など国内外の大会において数多くの実績を残しています。過去には世界ランキング1位になったこともある超すごい選手なのだ！



▲おなじみの廣瀬選手の投球フォーム。サウスポーから正確でパワフルなショットを放つ。ショットを決めた後の雄叫びも有名ですね。

村上監督とのトークショー

当日は、およそ100名が参加。開会行事に続いて早速、体験交流会が始まりました。まず村上監督と廣瀬選手のトークショーからスタートです。選手の皆さんの情報や大会での秘話、日本チームの強さの秘密など普段は聞けないお話がたくさん！



デモンストレーション

デモンストレーションは、村上監督の進行で行いました。ボッチャの基本技術として「アプローチ」「ヒット」「プッシュ」を様々なシチュエーションにて廣瀬選手が実践していました。

続いて村上監督から「何か見たいプレーありますか？」との問いに参加者から「スギムライジングが見たい！」の声。廣瀬さんに対して杉村さんの必殺技をリクエストするとは…しかし笑顔で応える廣瀬選手。1回目の試技はボールが乗りかけたのですが、惜しくも失敗。すると村上監督は「今で感覚をつかんだと思います。次は成功しますよ。皆さん、拍手の準備しておいてください」とのこと。いくら何でもプレッシャーかけすぎではと思いましたが、廣瀬選手は言葉どおりに見事成功して歓声が起こりました。



▲スギムライジング2回目の試技。ホントに拍手の準備をしている方も（笑）この後、見事成功し、大歓声が起こったのでした！

交流試合を開催

続いて6コートに分かれて交流試合を行いました。参加者は障がい者団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、地域住民など様々。年齢や性別の違いはもちろんのこと、参加種別を問わないところがボッチャの素晴らしいところです。

ここで、またまた村上監督から面白い提案がありました。各チームとも1試合中、1回だけ廣瀬選手による代打権を使うことができることにしました。どの場面で代打権を使うか。これも勝敗のカギになります。

試合が始まると「ビッタビタ」だね～とか「スギムライジング」などの言葉を聞こえてきました。東京パラリンピックでの日本チームの活躍がこのような地域にまで浸透していることに驚きました。

今回をきっかけにますます地域においてボッチャ人気が高まることが期待されます。開催にご尽力いただきましたB&G 財団様、NPO 法人前沢いききスポーツクラブ様はじめ、多くの関係者の皆様に感謝を申し上げます。

交流会終了後は、廣瀬選手を囲んで昼食会を行いました。試合で見せる顔とは異なり、穏やかで気さくな方でした。所属会社でもボッチャのPRに取り組んでいるようです。自身の競技だけではなく、ボッチャ全体の普及についても取り組んでいることは素晴らしいと思いました。ボッチャの楽しさを広げていただいた村上監督と廣瀬選手に感謝を申し上げます！



▲交流試合の様子。村上監督から試合の進め方のアドバイスがありました。



▲代打権発令！廣瀬選手はこの難しい状況をどのように変えるのでしょうか？

ボウリング交流大会 in 奥州を開催

◆期日：令和5年2月24日（金）
 ◆会場：ボウリングクオリア（奥州市）
 ◆レポート：コロナ過により久しぶりの開催となりました。会場は奥州市のボウリング・クオリアです。大会は2ゲームの合計スコアで競います。なお、ボウリングはレベル差が顕著に表れる種目でもあるため、本大会は障がいの有無に関わらず出場するオープン部、障がいのある方が出場する一般部、キッズレーンを使用するキッズレーンの部の3つのカテゴリーでエントリーできます。また投球台を使用することにより重度障がいのある方でも参加できます。このように障がいに応じた選択肢を準備できると参加の可能性も広がります。多くの方のニーズに合わせて参加できる環境整備に取り組んでいるボウリング・クオリアの皆さまに感謝を申し上げます。



▲上肢に障がいがある方は投球台を使用できるため、多様な障がいにも対応できる会場である。

『卓球バレーたかたサントリーカップ』を開催！

◆期日：令和5年2月26日（日） ◆会場：夢アリーナたかた（陸前高田市総合交流センター）
 ◆レポート：本大会は2019年にサントリーの東北サンさんプロジェクトの一環としてスタートしました。2020年からはコロナ過により休止、昨年度より再開しました。また卓球バレーは当初、人と人を笑顔でつなぐ有効なツールとして被災地の復興支援を目的として行われていました。この理念に基づき、日本卓球バレー連盟東ブロックでは岩手・宮城・茨城の3県において「卓球バレーエリアカップ」として実施することとしています。また卓球バレーは本県においては復興支援に加えて共生社会づくりを推進する有効なツールとして活用されており、これまでに久慈市での「あまちゃんカップ」、宮古市での「さんてつかップ」、大船渡市での「さんまカップ」などが毎年開催されています。そして今回は JICA の研修プログラムとして JICA 研修生2チームも参加して卓球バレーを通しての国際交流が行われました。



▲①ゆめちゃんクラスの試合の様子（上：宮城気仙沼A、下：花巻チーム）、②各クラスの優勝チームにはサントリーから賞品が贈呈されました。一本松クラスは何と JICA チームが優勝！プレゼンターはサントリーのCSR推進部長の坪松さん。右隣は日本卓球バレー連盟東ブロック長の荘子さん、③JICA チームの試合。対戦相手は宮城気仙沼Bチーム。

障がい者スキー 交流会 2023 を開催！



◆期日：令和5年3月4日（土）～5日（日）
◆会場：安比高原スキー場／安比ロッキーイン（八幡平市）
◆レポート：2日間に渡り、各障がい種別に応じたスキー体験会を実施しました。初めてスキーに取り組む方からアスリート系の方まで、障がいのある方37名が参加しました。スタッフなどを含めると延べ100名以上が参加。コロナ過においては久しぶりの盛り上がりを見せました！

さて、参加者は、普段は陸上や水泳等に取り組む方もいて今回の事業は様々な競技種目を自由に選択できる環境作りにもなると考えています。本事業の目的の1つに複数種目を経験することによる競技力向上がありますが、今後も様々な種目を選択できる環境作りにも努め、恵まれた本県の自然環境や施設を活かして競技力向上やスポーツ参加の環境整備を図っていきたいと考えています。

なお、スキーの指導は、それぞれの障がい特性や安全に配慮する必要があります。そのため、専門的なスキー指導スキルが求められます。本県では、公益社団法人日本プロスキー教師協会（以下、SIAという）に協力を依頼しています。SIAの活動理念は、「障がい健常を問わずスノースポーツを楽しむ環境作り」であり、プロの競技団体として、障がい者スポーツに取り組む希少な団体です。また、組織内に障がい者スキー委員会を設置しており、今回派遣いただいた講師も同委員会所属のインストラクターを中心にお願いしました。とても充実した2日間でした。またボランティアとして参加いただいた理学療法士や作業療法士をはじめ障がい者スポーツ指導員など多くの皆さまにあらためて感謝を申し上げます！



希望郷いわて大会開催記念ゲートボール交流大会を開催！

◆期日：令和5年3月9日（木）◆会場：グリーンピア三陸みやこ（宮古市）
◆レポート：ゲートボールは2016年希望郷いわて大会においてオープン競技として実施されました。本事業はこれを記念して開催しています。本来であれば当時会場となったサンビレッジ紫波で開催するところですが、同施設は新型コロナワクチンの集団接種会場となっているため今回もグリーンピア三陸みやこを会場に開催しました。

ゲートボールは打球時のルールを工夫することにより障がいの有無に関わらず一緒に競技することができるインクルーシブスポーツであり時代にマッチしていると思います。しかしながら年々競技者は減少しており、通常の5人ルールでは人数が集まらず不参加となるケースがあります。そこで、今回はチームあたり3名いれば参加できるようにしました。これが功を奏したのか参加チームが久しぶりに10チームを超え13チームの参加となりました。

競技は1日開催となるため、4コート8回戦制（1チームあたり5試合実施）で勝敗と得失点により順位を競いました。試合は白熱した好ゲームが続きましたが、この熱戦を制したのは5勝0敗のまべちがわチーム（葛巻町）でした。2位は4勝1敗の地元のはまなすチーム（宮古市田老）、3位は3勝2敗で5チームが並びましたが得失点差により湯ったり館チーム（宮古市新里）となりました。



岡崎建設 Owls バレーボール教室を開催しました！

◆期日：令和5年3月12日（日）◆会場：オガールアリーナ（紫波町）

◆レポート：岡崎建設 Owls は社会人クラブチームとして全国的にも有名です。またオガールアリーナは全国的にも希少なバレーボール専用コートであり、バレーボールの聖地といえるかもしれません。本県には聴覚・知的・精神と障がい別に3つのチームがあり、それぞれ全国障害者スポーツ大会出場を目指して練習を重ねています。そして、毎年開催されるこのバレーボール教室は選手にとっても大きな楽しみとなっています。

今回は知的チーム10名、聴覚チーム11名、スタッフ8名と30名程度が参加しました。岡崎建設はほぼフルメンバーが参加。岡崎建設の選手も加えて6グループに分かれて、Owlsの伊藤監督の指導のもと準備運動やアイスブレイク、基本練習を行いました。Owlsの選手の皆さんには基本的なことから技術的なことまでわかりやすく丁寧に指導していただき、こちらの選手たちも見る見る上手くなっているように思いました。また憧れの選手の指導となると目の輝きが違います。普段からこのようにキラキラした目で練習したらもっと上手になるんでしょうね。最後は6グループの対抗戦で盛り上がり無事に終了しました。Owlsの皆さま、本当にありがとうございました！



第3回岩手県パラアーチェリー記録会を開催しました！

◆期日：令和5年3月21日（火）◆会場：パラリーナ（盛岡市）

◆レポート：毎年6月に開催される岩手県障がい者スポーツ大会ではアーチェリー競技を含む7競技が行われています。しかしながら、パラ種目に関してはこの大会以外に競技大会が開催される機会は少ないのが現状です。また、地域レベルではなく全国規模の大会はありますが、参加標準記録や遠征費の負担など参加ハードルが高いと言えます。この課題を解決する取組みとして当協会ではアーチェリーの他、陸上、水泳、卓球のローカル大会を開催しています。

パラアーチェリー記録会は3回目の開催となります。パラ種目の中でもアーチェリー競技の歴史は古く、また障がいのある人もない人も一緒に競技をする種目として長年取り組んできております。今回も岩手県アーチェリー協会、盛岡市アーチェリー協会の会員の皆さんにも競技に参加いただきました。また午後は体験会を開催して普及活動にも取り組みました。



会員紹介

-Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

（令和6年4月1日現在 敬称略・五十音順）

正会員一覧（団体）

岩手県 ID バasketボール連盟 / (一社) 岩手県作業療法士会 / (社福) 岩手県視覚障害者福祉協会 / (社福) 岩手県社会福祉協議会 / (社福) 岩手県社会福祉事業団 / (社福) 岩手県身体障害者福祉協会 / 岩手県スポーツウエルネス吹矢協会 / (NPO) 岩手県精神保健福祉連合会 / 岩手県知的障がい者サッカー連盟 / 岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ / 岩手県特別支援学校連絡協議会 / 岩手チェアスキークラブ / 岩手リハビリテーション学院 / (株) オイラー / (一社) コ・イノベーション研究所 / サークル「ゆうの会」 / (社福) 自立更生会 / (社福) 新生会 / 全国脊髄損傷者連合会岩手県支部 / (社福) 手をつなぐ / (株) トラスト保険 / ドルフィンズ岩手 / (株) 畠山冷機工業所 / 山口北州印刷 (株) / ラッセル岩手

正会員一覧（個人）

阿部 史憲 / 伊藤 昇 / 井上 勝巳 / 井上 君之 / 今宮 正彦 / 岩淵 典仁 / 上村 弥 / 及川 貞之 / 小江 巧 / 小原 敏弘 / 軽石 義則 / 菊池 幸子 / 小坂 亜純 / 佐々木 君夫 / 佐々木 茂 / 笹木 正 / 佐々木 満 / 佐藤 勝士 / 佐藤 志学 / 佐藤 慎二 / 佐藤 隆秀 / 佐藤 佑哉 / 白藤 友一 / 菅原 幸二 / 高橋 修 / 中野 正紀 / 野辺地 省吉 / 平藤 淳 / 三浦 拓朗 / 民部田 誠 / 横沢 高徳

賛助会員紹介

-Our Partners Introduction-

当協会の活動は多くの賛助会員により支えられています。このコーナーでは賛助会員である企業・団体の CSR 活動などを紹介してまいります。2回目は株式会社やよいディライト代表取締役 青野 恵司 様のインタビューを紹介いたします。

株式会社やよいディライト(やよい Living)

代表者あいさつ ~お客様の想いをつむぐ~

当社は2004年に設立し、従業員3名からスタートしました。正真正銘「全く嘘偽りのない布団づくり」をモットーに、日本国内での生産にこだわり、お一人お一人の想いに限りなくお応えし、お客様に満足して頂けるよう全従業員で取り組んでおります。また、皆様との出会い、人とのつながり、そして絆を心から大切に、真実のサービス、物づくりを通して大事な人たちの想い、そして布団の作り手の想いも大切にしながら、丁寧につむいでいきたいと思っております。

株式会社やよいディライト 代表取締役 青野 恵司



Q: 企業概要を教えてください

A: 設立当初は盛岡市名須川町に社を構えていた。

「やよいディライト」は法人が顧客、「やよいリビング」は一般顧客を対象としており、そのニーズは全く異なる。企業はどうしてもコストとの兼ね合いが必要となるが、一般のお客様にはお悩みや住環境に合わせた職人の手づくりによる1点物の寝具を提供。作り手側の顔が見えるモノ作り、トレーサビリティの確立を通じて、廃棄を前提としたモノ作りではなく、お客様に一生大切に使用したいと思っていただけのモノ作りを行っている。

Q: オーダーメイドにこだわる理由は?

A: 弊社はモノに想いを込めて長く使い続けるという日本人の文化をととても大切にしている。

例えば婚礼ふとん。結婚のお祝いに両親が子へ持たせるものであるが、贈られた側は20年30年経っても当時の想いを大切に打ち直しをしながら使い続ける。2000年代、世の中は大量生産大量消費の時代になり、寝具は廃棄を前提とした化学繊維を使用した安価なものが流通。これにより2019年の日本国内の寝具処分量は1億枚となり、その多くは購入して5年以内という比較的新しい寝具であることも分かっている。

私たちが一点物の寝具にこだわるのは、お客様の身体のお悩みや住環境に合わせた快適な寝具をご提案するという思いはもちろんのこと、日本人らしいこの素晴らしい文化を繋いでいきたいという思いがある。作り手側の顔が見えること、そして使い手側の顔が見えることが、捨てるという選択ではなく、大切に使い続けたいと思う気持ちを育むと考えている。

Q: 災害用寝具について教えてください

A: 2021.11.27~クラウドファンディング「いしわり」にて災害用寝具の制作資金調達と、不要になったダウン製品の回収を行った。目標金額を無事達成し、当初より予定していた大槌町様へ災害用寝具をお届けすることができた。ご協力、応援いただきました皆様には心より感謝申し上げます。しかしながら本年1月に発生した能登半島地震においても寝具が圧倒的に不足していた。改めて自治体、そしてご家庭へ災害用寝具が普及に至っていないことを痛感した。今後この取り組みは自治体と協力し強化していきたいと考えている。災害用寝具に関しては、使用されないことが一番であるが、緊急時に少しでも皆さんの心と身体を休めるお手伝いできればと思う。引き続き応援いただければ幸いです。



▲お客様に大切に使い続けていただくために

Q: 『IWATE DOWN』について教えてください

A: 弊社で一昨年立ち上げた IWATEDOWN は完全国内生産にこだわり、顔が見えるモノ作りを徹底している。この一番の特徴は羽毛にあり、株式会社アマタケ様で食用に飼育されている岩手ガモのこれまで廃棄されていた羽毛を買い取り、新たな商品として生み出した。

特徴は独自の無洗剤洗いにより、JIS規格の2倍の洗浄度を取得していること。採取した羽毛が実際に使用できるまでの羽毛になるのは100kg中わずか6kg。とても希少価値が高い原料である。

IWATEDOWNは震災から10年(2021年当時)の節目として、岩手県の企業と共同し立ち上げたブランドで、岩手県のアーティスト松嶺貴幸氏やヘラルボニーとも共同し、社会に対してメッセージ性のある商品を目指した。

SDGsの取り組みとビジネスは乖離する部分があるが、一人でも多くの一般消費者が弊社を選択して下さる取り組みを今後も続けていきたい。

Q: 企業としての社会貢献について教えてください

A: 弊社が様々なプロジェクトを進めていく中でビジネスパートナーの存在はとても重要である。紡績においては、細かな作業が多く、高い集中力が必要となる。そのためこれらの作業はB型就労支援事業所へ依頼をし、得意とする部分をお互いに理解し合い協力し合っている。今後もビジネスパートナーとして対等なお付き合いをしていきたいと考えている。貴協会の設立当初から賛助会員として関わらせていただいているが、これからも会社としても個人としても障がい者スポーツを含め、障がいのある方々の社会参加についてできることは積極的に応援したい。

賛助会員一覧 (団体)

アーク株式会社/株式会社アースデザインコンサルツ/株式会社アイエムアイ/株式会社アイシーエス/株式会社IBC岩手放送
 株式会社アウトレジャー/株式会社青紀土木/いしどりと眼科/株式会社 一条工務店仙台/(一社)岩手県医師会/(一社)岩手県建設業協会
 岩手県産株式会社/岩手建設工業株式会社/岩手県都市ガス協会/岩手県南運輸株式会社/(一社)岩手県理学療法士会
 岩手スポーツ用品販売株式会社/いわて生活協同組合/岩手電工株式会社/岩手トヨペット株式会社/株式会社 岩手日報社/岩手雪運株式会社
 岩手リオン補聴器センター/岩手リハビリテーション学院/イワフジ工業株式会社/株式会社エヅリコ・エンジニアリング
 株式会社エヌエスオカムラ/株式会社F Pホームサービス/株式会社遠忠/桜心警備保障株式会社/岡崎建設株式会社/有限会社小沢商会
 株式会社カガヤ/鎌田水産株式会社/株式会社川徳/株式会社菅文/株式会社菊地建設/株式会社キタカミデリカ/株式会社北日本銀行
 北日本建機工業株式会社/北日本通信株式会社/株式会社久慈設計/栗原建設株式会社/小岩金網株式会社/株式会社公楽/株式会社小林精機
 株式会社齊藤興業/株式会社佐賀組/株式会社佐武建設/株式会社佐藤興産/株式会社佐藤政行種苗/株式会社志百家
 株式会社ジャスト・コンサルタント/株式会社寿広/昭栄建設株式会社/白金運輸株式会社/有限会社新栄観光バス/株式会社新興製作所
 株式会社スパット北上/住田フーズ株式会社/株式会社関建設/有限会社タイガースポーツ/太平洋セメント株式会社大船渡工場
 株式会社丹野組/株式会社テレビ岩手/東北エンジニアリング株式会社/東北資材工業株式会社/東北住建株式会社/株式会社東北ターボ工業
 東里工業株式会社/DOWA 通運株式会社/株式会社都南建設/トヨタカローラ岩手株式会社/株式会社中野製麺/株式会社日盛ハウジング
 日本身体障害者団体連合会東北事業所/ネットヨタ岩手株式会社/橋爪商事株式会社/株式会社長谷川建設/東野建設工業株式会社
 株式会社ヒューマンライフ/ヒラトヤ株式会社/府金製粉株式会社/株式会社藤沢体育堂/株式会社ベルジョイス/北良株式会社
 株式会社マイヤ/株式会社丸江/株式会社マルノ/株式会社ミズサワセミコンダクタ/みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
 株式会社三ツ星商会/南建設株式会社/宮城建設株式会社/三八五観光株式会社/名鉄観光サービス(株)盛岡支店/株式会社明和土木
 盛岡商工会議所/医療法人友愛会 盛岡友愛病院/有限会社谷地林業/株式会社ヤマイチ/株式会社やよいディライト/株式会社 ユニバース
 株式会社Yume ka/株式会社吉田測量設計/有限会社吉野電設/株式会社米澤商事/株式会社リバスト/菱和建設株式会社
 社会福祉法人若竹会

賛助会員一覧 (個人)

菅 里美/藤村 誠/堀川 裕二/白畑 由貴子/浅沼 秀夫/阿部 志郎/村田 美幸/高橋 千恵子

バナー広告掲載中!

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下 84 団体のバナー広告を掲載中。その他、掲載依頼がありましたら随時、当協会 HP にアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。